

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

学校名	武雄市立朝日小学校
-----	-----------

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	①【学力向上】…ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを校内研究の柱とし、発達障害者等傾向にある児童を含めた全ての児童にとって、楽しく「わかる」「できる」学習指導の在り方を探ってきた。授業研究会を重ねていくことで職員の授業づくりへの意識が高まってきている。しかし、各種学力調査の結果より一層基礎基本的な学力の定着を図るために、指導法の形態やクロムブックの活用を工夫して、実効性のある手立てを考え、実践していく必要がある。 ②【心の教育・健康、体づくり】…いじめ防止に対する組織的な体制はできているが、早期発見、早期対応については課題が残る。来年度も、学級経営の安定を図ることを第一に、いじめ防止につながる心の授業や構成的エスカレーターなど積極的に実施していく。健康、体づくりについては、コロナ禍の中、スポーツチャレンジや朝朝り班活動は十分にできなかったが、昼休み外遊びの奨励や「みんなでウォーキング」、学年ドッジボール大会、サカガ島格闘サッカー教室など、できる時期に様々な活動に取り組んできた。今後も子どもたちがより一層運動に親しむ機会を作っていく。 ③【コミュニティ・スクールの充実】…コロナ禍において制約がある中、できる範囲で地域との連携、交流を生かした体験活動を行ってきた。来年度は、新幹線周辺に関連した活動や新公民館、あさひ子ども園との連携交流など、子どもたちが主体的に地域と関わることができる学習課題を設定していく必要がある。	
--------------------------	--	--

2 学校教育目標	自己有用感をもって主体的に学ぶ朝日っ子の育成 ～校訓「元気で勉強 みんな仲よし」～
----------	--

3 本年度の重点目標 ①全員参加のわかる授業（基礎学力の定着） ②志を高める教育活動の推進 ③特別支援教育の充実 ④感謝と思いやりの心の育成 ⑤いじめの未然防止と早期発見対応 ⑥運動週間の改善や定着化 ⑦危険回避能力の育成（防災教育） ⑧愛郷心の育成 ⑨幼保小連携 ⑩教職員の資質向上と業務改善（働き方改革）

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教員90%以上。 ○「電子黒板やクロームブックを活用し、わかりやすい授業づくりを行っている」と回答した教員100%。	・マイプランの成果指標となっている「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.1,2」を踏まえた授業作りに取り組む。 ・一人1台端末を効果的に活用した授業作りについて、校内研修等により取組の促進を図る。		・		・		・	◎学力向上対策コーディネーター ・情報化推進リーダー
	○どの子も楽しく「わかる」「できる」授業づくりの実践～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり～(校内研究の充実)	○「ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりを心掛けている」と回答した教員100%、「勉強がわかる・できる」と回答した児童80%以上。 ○12月県学習状況調査(4～6年)において平均正答率が県の到達基準を上回る学級が5割以上。 ○CRT学力検査(1～3年)においての平均正答率が武雄市平均正答率を上回る学級が8割以上	・「ユニバーサルデザイン3つの視点による授業づくり」チェックリストと「ユニバーサルデザインの支援チェックリスト」を作成し、活用することで、日常の授業改善を図る。 ・基本的学習習慣の定着や自主学習の奨励、学習環境整備など、学習を支える土台作りを行う。 ・家庭学習や朝の時間を活用し、学習状況調査やCRTの過去問に取り組ませる。		・		・		・	【学習部】 ◎研究主任 ・副主任 ◎主任 ・指導法改善
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「心の教育を行い、思いやりの心を育てている」と回答した教員100%。 ○「思いやりの心をもち人のために進んで動いたり、協力したりできている」の項目で「できる」と回答した児童85%以上。	・自己有用感を高める4ポイントの実践 ・命や人権について考える学習の充実(平和集会や人権週間の内容の充実)。 ・グリーン鉢運動やボランティア活動の充実 ・ふれあい道徳や道徳の授業の充実を図る。		・		・		・	◎人権・同和教育担当 ・道徳教育推進教員 ・ボランティア活動
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「なかよしアンケート」で「学校が楽しい」と回答した児童90%以上。 ○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員90%以上。	・全学級共通の教材を活用し(生徒指導部作成)、いじめに関わる道徳の授業を行う。(いじめを生まない風土作り) ・なかよしアンケートや日常観察によりいじめと疑われる事案を発見した場合は、すぐに学年間で共有し、丁寧に聞き取り、対応する。(学年主任→生徒指導主任→教頭・教務→学校長とチームによるライン対応を行う)		・		・		・	【生徒指導部】 ◎主任 ・生徒指導主任
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「児童が主体的に取り組めるように、学級活動や学校行事の内容を工夫している」と回答した教員100%。	・これまでの実践や今年度行う取り組みを提案する。その際、取り組みやすいように学年に応じた話し合いの型、課題なども紹介するようにし、情報共有の機会を設ける。 ・異年齢集団活動を(縦割り班活動や異学年交流)の実施する。		・		・		・	【特別活動部】 ◎主任 ・異学年交流担当
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童80%以上	・児童と運動のかかわりを深める体育科学習の充実と外遊びの奨励。 ・委員会活動によるスポーツチャレンジの実施と学級での取組の充実。		・		・		・	【保健部】 ◎主任 ・体育主任
	○危機回避能力の育成	○「感染症や災害に備えた防災教育や命を守るための安全教育を行うことができた」と回答した教員100%。	・安全・防災教育年間計画を作成し、適切な時期に効果的な安全・防災教育を行う。 ・計画した安全・防災について、それぞれ授業用のパワーポイントを作成する。そのことで、全ての教室で共通実践がなされ、さらに指導が毎年蓄積されるようにし、全職員、全児童の安全、防災に対する意識の向上を図る。		・		・		・	【生徒指導部】 ◎安全・防災教育 ・避難訓練 【保健部】 ・保健・安全指導
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・全職員の平均が45時間以内になるよう、毎日19時までの退勤を目指し、声をかけたりボードに可視化したりする。 ・「グーグルフォーム」によるアンケート調査やセイネット掲示板の活用。 ・教職員が協働的に学び合う体制や教員が互いに円滑なコミュニケーションをとれる雰囲気作り・環境作りを行い、働きやすい職場風土をつくる。		・		・		・	◎管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○全職員での情報共有と校内支援体制の確立 ○外部機関との連携、専門研修の充実 ○個別実践化	○特別支援に関する専門性が向上したと答えた教員90%以上 ○情報共有を定期的に行う(全職員月2回、特別支援チーム月1回)。	・年5回以上、特別支援教育に関わる研修会や外部機関との支援会議、巡回指導を実施し、理解したことを即実践につなげる。 ・月に1回(クラブ活動の時間)、特別支援チームの研修の場を設定し、チームで対応・対策を考える。 ・校内支援委員会を中心に、職員連絡会やケース会議でも定期的に全職員による情報共有の機会を設ける。		・		・		・	【特別支援教育チーム】 ◎特別支援教育コーディネーター ・通級担当
○愛郷心の育成	○地域人材の活用と体験や交流、発信活動の充実	○「武雄市や朝日町のよさ(じまん)」を知っている」と回答する児童90%以上	・新幹線開通に関連した活動やあさひ公民館、あさひ子ども園や老人会との連携交流、など、子どもたちが主体的に地域と関わることができる学習課題を設定する。		・		・		・	◎教務主任 ・各学年主任
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育										
5 総合評価・次年度への展望										